

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		有機市民農園管理運営事業費			
所管部局	農林水産部	部局長名	本山 幸一	予算事業名	有機市民農園管理運営費
所管部署	農林水産課	所属長名	池内 章	予算事業科目(平成25年度)	010601030110

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	04	地産の環	施策取組方針	中山間地域においては、地域特性を活かした農産物の栽培を推進するとともに、地域集落が一体となった共同営農体制の確立に向けての取組を推進します。 水田農業においては、米需給調整の下、生産コストの低減など所得向上に向けた取組に努めるとともに、畜産農家との連携による主食用米以外の生産研究など、特色ある農業の展開を図ります。 また、有機農業などのEco農業を推進し、食の安全確保や自然環境の保全に取り組みます。	
政策	19	大地の恵みを活かす農業の振興			
施策	60	地域特性を活かす特色ある農業の展開			

2 事業の根拠・性格

		法定受託事務
法律・政令・省令	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律	
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市有機市民農園貸付要綱	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民(農園利用者)		
意図	どのような状態にしていくのか	有機農業を行うことにより、農業の重要性や必要性を理解してもらうとともに環境に配慮した農業への関心を高めてもらう。		
手段	事業実施体制等	市民農園利用者の利用料徴収及び市民農園管理運営の実施(管理運営業務の一部を民間事業者へ業務委託)	事業開始年度	平成21年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	市民農園利用者に対して、栽培栽培サポート(10日/月×12ヶ月)、栽培講習会(4回/年)及び収穫祭等の実施。 【民間事業者へ業務委託】		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	有機市民農園の区画数	有機市民農園の利用率(利用者数/区画数)	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄
成果指標	A	有機市民農園の区画数	目標 48	48	48	48	
			実績 48	48	48		
	B		目標				
			実績				
	C		目標				
			実績				
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,231	1,269	1,231	1,353	
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	1,231	1,269	1,231	1,353
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	720	720	740	1,110	
		正規職員 (千円)	720	720	740	1,110	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)	0.10	0.10	0.10	0.15	
		正規職員 (人)	0.10	0.10	0.10	0.15	
		その他 (人)					
	総コスト= ① + ② (千円)		1,951	1,989	1,971	2,463	
市民1人当たりコスト (円)		6	6	6		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397			

## 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

### 「指標で表せない事業評価」

本事業は有機市民農園利用者に対して有機農業への取組みを通じて、食や環境保全への関心を高めてもらうことをねらいとしており、利用区画数のみで事業の評価を表せるものではない。

環境面に配慮した農業の振興は、地域の特性を生かした特色ある農業の発展にもつながることから、有機市民農園の開設を通じて消費者の関心を高めるとともに農業者の実施する環境保全型農業との両輪で推進するべき事業と考えている。

## 6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 「施策体系等での位置付け」 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は、環境問題への取組が求められるなかで、農業生産のあり方にも環境保全に配慮した農業の振興が求められており、本市総合計画に掲げた「地域特性を活かす特色ある農業の発展」の趣旨とも合致するものである。  食の安全安心などの高まりから、環境に配慮した農産物の市民のニーズは高い。
	② 「市民ニーズの傾向」 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ 「成果の達成状況」 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	十分に達成している。  事業が順調に取り組まれるよう利用者への栽培講習会等の実施を行った。
	④ 「事業の手法・活動内容」 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ 「アウトソーシングの可能性」 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	市民農園の管理運営の一部について民間事業者へ業務委託を行っている。  現状が望ましい。
	⑥ 「事業統合・連携・コスト削減」 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ 「受益者の偏り」 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	4.0	市広報誌やホームページ等で市民農園の募集を行っており公平性は保たれている。  適正な支援単価である。
	⑧ 「受益者負担の適正化」 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B		
総合点	19.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

## 7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	有機市民農園の開設を通じて、市民に対して環境に配慮した農業の重要性を認識してもらうことは、ひいては地域の特性を活かした農業の振興につながることから、事業継続したい。
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

## 8 特記事項